

講演会

肺癌のコンパニオン診断と 精度管理

個別化治療では、治療薬の有効性と安全性を確認するためにコンパニオン診断という検査(必須)が行われ、薬剤標的となる蛋白質や遺伝子の変異や発現量が調べられます。今回はそのコンパニオン診断のエキスパートである羽場先生をお招きして、肺癌のコンパニオン診断について、病理医の立場から検体の取扱い、精度管理上の注意点や問題点に関して解説していただきます。

香川大学医学部附属病院 病理診断科 教授

羽場 礼次 先生

【日時】平成31年1月30日(水)

18:00~19:30

【場所】福岡大学医学部臨床大講堂

【座長】病理学 鍋島 一樹 先生

主催：福岡大学大学院医学研究科
福岡大学 九州がんプロ養成プラン
福岡大学医学部病理学教室